

第 36 回日本人工臓器学会 教育セミナー
『人工臓器』プログラム

司会：西中 知博（国立循環器病研究センター）
戸田 宏一（大阪大学）

はじめに：西中 知博（教育・臨床工学〔体外循環〕担当理事）

1.人工心肺の基本操作

丹木 義和（東京医科大学八王子医療センター）

2.心臓麻酔の歴史的変遷：心臓外科医、体外循環技術認定士とのコミュニケーションツール

野村 実（東京女子医科大学）

3.レギュラトリーサイエンス：医療をより良くする医療機器の実用化に向けて

岩崎 清隆（早稲田大学）

4.人工心臓治療における看護師の役割

久保田 香（大阪大学）

5.植込型補助人工心臓の管理における臨床工学技士の役割－現状と今後、検討すべき課題－

柏 公一（東京大学）

6.体外循環のトラブルシューティング

百瀬 直樹〔JaSECT 理事長〕（自治医科大学さいたま医療センター）

7.人工膵臓（Artificial Pancreas）の現状と将来展望

宗景 匡哉（高知大学）

8.人工腎臓（本邦における HDF の現状と展望）

友 雅司（大分大学）

9.人工臓器のための生体材料（バイオマテリアル）の基礎と現状

岸田 晶夫（東京医科歯科大学）

10.心臓大血管手術－柔軟な仕事力を支える臨床工学技士の予想脳－

齋木 佳克（東北大学）

11.カテーテル心臓血管手術：TEVAR および TAVI の現状と展望

島村 和男（大阪大学）

12.再生医療の現状と今後

宮川 繁（大阪大学）

13.小児の心臓手術

市川 肇（国立循環器病研究センター）

14.植込み型補助人工心臓の新時代

小野 稔（東京大学）

15.体外設置型 VAD・ECMO・Impella

塩瀬 明（九州大学）

おわりに：西中 知博（教育・臨床工学〔体外循環〕担当理事）